

実入りコンテナは1%増の1090万TEU

■5大港・25年実績

国内5大港（東京港、横浜港、名古屋港、大阪港、神戸港）の2025年通年（1～12月）の実入り外貿コンテナ取扱量（速報値）は、前の年比1.3%増の1090万TEUだった。神戸港を除く4港で増加した。内訳は実入り輸出が0.4%減の426万TEU、実入り輸入が2.4%増の664万TEU。実入り・空コンテナ合計は1.7%増の1390万TEUで、こちらも神戸港以外の4港でプラスとなった。内訳は輸出が1.8%増の690万TEU、輸入が1.6%増の701万TEU。

各港湾管理者が公表した港湾統計の速報値を基に、本紙が25年実績をまとめた。大阪港は12月が最速報値で、その他は速報値から集計した。

港別に実入りコンテナ貨物を見ると、東京港は2年連続で増加した。外貿全体の貨物取扱品目別にみると、輸出で1位のその他化学工業品は3.4%減の176万トン、2位の産業機械は0.9%増の171万トン、3位の再利用資材は10.0%減の109万トンだった。輸入で1位の衣服・身廻品・はきものは1.8%増の465万トン、2位の電気機械は0.6%増の343万トン、3位の製造食品は5.6%増の275万トンとなった。

横浜港は5年連続で増加した。品目別のコンテナ貨物は、輸出1位の自動車部品が13.3%増の482万トン、2位の完成自動車は15.2%増の248万トン、3位の染料等化学工業品が0.8%減の195万トンだった。

港	合計		輸出		輸入	
	前年比増減率	前年比増減率	前年比増減率	前年比増減率	前年比増減率	
東京港	4,268,615	2.4	1,903,547	0.8	2,365,068	3.7
横浜港	2,813,277	2.1	1,528,400	3.5	1,284,877	0.5
名古屋港	2,638,533	1.9	1,365,379	1.7	1,273,153	2.2
大阪港	2,108,065	4.1	973,426	6.5	1,134,639	2.2
神戸港	2,075,303	▲2.7	1,127,558	▲2.1	947,746	▲3.4
5大港合計	13,903,793	1.7	6,898,310	1.8	7,005,483	1.6

港	実入り合計		実入り輸出		実入り輸入	
	前年比増減率	前年比増減率	前年比増減率	前年比増減率	前年比増減率	
東京港	3,140,740	1.8	787,388	▲4.6	2,353,352	4.1
横浜港	2,316,519	2.1	1,138,983	3.5	1,177,536	0.8
名古屋港	2,195,376	1.6	1,061,627	0.0	1,133,749	3.2
大阪港	1,485,357	1.0	388,761	▲2.0	1,096,597	2.1
神戸港	1,765,224	▲0.7	885,167	▲1.1	880,057	▲0.2
5大港合計	10,903,216	1.3	4,261,926	▲0.4	6,641,291	2.4

輸入1位の電気機械が16.1%増の256万トン、2位の製造食品が0.7%増の208万トン、3位の衣服・身廻品・はきものが14.9%増の194万トンだった。

名古屋港も2年連続で増加した。品目別のコンテナ貨物は、輸出1位の自動車部品が2.0%減の795万トン、2位の完成自動車は2.0%減の294万トン、3位の産業機械が6.5%増の260万トンだった。輸入1位の衣服・身廻品・はきものが7.3%増の283万トン、2位の自動車部品が3.8%増の232万トン、3位のその他化学工業品が3.4%増の188万トンだった。

大阪港は2年連続でプラスとなった。同港は11月までの速報値を公表している。これによると、同月時点の外貿貨物全体の品目別の取扱量は輸出1位の鋼材が前の年同期比4.7%

増の101万トン、2位の染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が1.7%減の93万トン、3位の産業機械が6.0%増の89万トンだった。輸入1位の衣服・身廻品・はきものが2.6%増の354万トン、2位の電気機械が2.8%増の287万トン、3位の染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が5.2%増の204万トンだった。

神戸港は3年連続で減少した。外貿貨物全体の品目別取扱量を見ると、輸出は産業機械が3.9%減の408万トン、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が3.2%減の296万トン、完成自動車は4.8%減の236万トンだった。輸入は石炭が15.7%減の511万トン、衣服・身廻品・はきものが1.8%増の199万トン、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が11.3%減の154万トンだった。